



周南地域の活性化について（平成15年6月定例会）

周南地域の産業の活性化、賑わいの創出を図るため「新たな交流拠点施設」整備に対して、地元は大きな期待を持っています。今後とも地元と十分協議しながら着実な推進を図っていただきたいと思います。

新しい市は、さまざまな課題をランドセル一杯に背負った1年生です。ひとり立ちに向けて、念入りなフォローアップをお願いしたいと思います。

知事は、今後、周南地域の活性化あるいは地域づくりをどのように進められるのか、また、周南市の取り組みをどう支援していこうと考えていらっしゃるのか、お伺いいたします。

二井知事答弁

私は、周南地域の活性化を図っていくためには、これまで周南地域を支えてきた産業の活性化が何よりも重要であり、中でも、コンビナートなど既存産業の再生とこれまでの技術の集積を生かした新産業の創造が必要と考えております。

次に、周南市の取り組みに対する支援についてであります。私は、今回誕生いたしました周南市を、県内他地域の合併のモデルとなるように十分フォローアップしていく必要があると考えておりました。新市のテイクオフを支援する地域内外を結ぶ幹線道路網の整備や周南総合庁舎の整備など新市建設計画に掲げられております23の県事業の実施はもちろんのこと、新市の取り組みに対しまして、積極的な支援を行ってまいりたいと考えております。

さらに、周南市及び周南地域の活性化のためには、名実ともに県政発展をリードする周南広域中核都市の実現が不可欠であります。下松市、光市、大和町を含めたより大きな枠組みによる合併が必要と考えております。

私は、今後とも、中核都市の形成、技術・産業の集積、交流の促進という3つの地域の振興方向に沿って、周南地域の活性化に向けて、積極的に取り組んでまいります。